

主 な 異 常 気 象

災 害 区 分 発 生 月 日	気 象 概 況	雨 量 ・ 震 度 等
平成30年 7月豪雨 及び 梅雨前線 豪雨 平成30年 5月20日 ～ 7月10日	平成30年5月20日から7月10日にかけて、梅雨前線が沖縄・奄美から本州付近に停滞し、断続的に活動が活発となった。また、この間、6月10日から11日にかけて台風第5号が、6月15日から17日にかけて台風第6号が、7月1日から4日にかけて台風第7号が、7月10日から11日にかけて台風第8号が日本に接近した。これらの台風や前線等の影響により、各地で大雨、暴風となった。 特に、6月28日から7月8日にかけて、日本付近に停滞した梅雨前線や台風第7号の影響で暖かく非常に湿った空気が継続して流れ込み、総降水量が多いところで1800ミリを超えるなど、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となった。この大雨による河川の氾濫、土砂災害等で、死者は224名、行方不明者は8名に及び、平成に入って最悪の人的被害となったほか、家屋の全半壊は約17,000棟、浸水家屋は約30,000棟に達した。気象庁は、平成30年6月28日から7月8日に発生したこの豪雨について、「平成30年7月豪雨」と名称を定めた。	○日降水量（1日300mm以上） <長野県> 御嶽山 317.0mm (7/5) <岐阜県> ひるがの 350.0mm (7/7) <和歌山県> 龍神 317.5mm (6/20) <徳島県> 木頭 315.5mm (7/3) 京上 326.0mm (7/6) <高知県> 池川 308.5mm (7/3) 魚梁瀬 469.0mm (7/5) 本山 510.5mm (7/6) 宿毛 376.5mm (7/8) <福岡県> 添田 391.0mm (7/6) <佐賀県> 北山 422.5mm (7/6) <長崎県> 雲仙岳 322.5mm (7/6) <大分県> 椿ヶ鼻 319.0mm (7/6) <熊本県> 鹿北 313.5mm (7/6) <宮崎県> 西米良 305.0mm (7/3) <鹿児島県> 平島 319.0mm (6/21) <沖縄県> 伊是名 312.0mm (6/16) 北原 329.0mm (7/3) 城辺 315.0mm (7/5)
平成30年 北海道胆振 東部地震 平成30年 9月6日	平成30年9月6日03時07分に、胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生し、北海道厚真町で震度7、安平町、むかわ町で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方の一部にかけて震度6弱～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から7.3秒後の03時08分12.6秒に緊急地震速報（警報）を発表した。この地震は陸のプレート内で発生し、発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。 その後、この地震の震源周辺で地震活動が活発になり、震度1以上を観測する地震は10月31日までに311回発生した（震度5弱：2回、震度4：20回、震度3：35回、震度2：81回、震度1：173回）。この地震により、死者41人、負傷者749人、住家全壊409棟、住家半壊1,262棟などの被害を生じた。 気象庁は、この地震及びその後の一連の地震活動について、その名称を「平成30年北海道胆振東部地震」と定めた。	○震度 <北海道> 7：厚真町 6強：むかわ町、安平町 6弱：札幌市、千歳市、 日高町、平取町 5強：苫小牧市、江別市、 三笠市、恵庭市、 長沼町、新冠町、 新ひだか町、

○出典：平成30年度災害時自然現象報告書（気象庁）